

# 数理物質科学研究科

## 博士前期課程 一般入学試験（8月期）

（数学、物理学、化学、電子・物理工学、物性・分子工学専攻）

### 出願から入学までのフローチャート

#### 出願資格を確認しましょう！

次のいずれかに該当する場合は、  
出願資格審査は**不要**

- 大学(4年制)を卒業した者・卒業見込みの者
- 学士の学位を取得した者・取得見込みの者
- 教育職員免許法による一種または専修免許状を有する者(22歳以上)
- その他

<出願資格の詳細はこちら>

次のいずれかに該当する場合は、  
出願資格審査は**必要**

- 短期大学または高等学校を卒業した者
- 専門学校または各種学校を卒業した者
- 16年に満たない学校教育制度の外国の大学を卒業した者
- その他

<出願資格の詳細はこちら>

<志望する指導教員と事前に連絡をとってください>  
<研究分野に関する問い合わせ先(専攻)はこちら>

出願に必要な証明書等  
早めに準備してください。

出願に必要な証明書等  
早めに準備してください。

#### 入学願書等

出願書類のダウンロードはこちらから  
願書等記入例はこちらから

#### 入学願書等

- 出願資格審査様式  
出願資格審査様式及び申請方法はこちらから
- 通常の出願書類  
出願書類のダウンロードはこちらから

#### 検定料納付

出願前に納入してください。

#### 出願資格審査

平成28年(2016年)7月1日までに書類一式を提出して下さい。  
本学大学院で、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか否かを審査します。



出願  
資格審査に  
合格した者

**出願期間**

平成28年(2016年)7月20日～22日必着  
提出書類に不備があった場合は受理しません。

**受験票**

平成28年(2016年)7月29日に発送します。

**受験者心得**

本学ホームページにて平成28年(2016年)8月1日に  
掲載します。

**試験日程**

平成28年(2016年)8月23日、24日

<過去の入試問題公開状況はこちら>

**合格発表**

平成28年(2016年)9月13日

**入学手続書類**

〔4月入学〕平成29年(2017年)2月17日  
〔10月入学〕平成29年(2017年)6月下旬  
に発送します。

**入学手続**

〔4月入学〕平成29年(2017年)3月上旬  
〔10月入学〕平成29年(2017年)9月初旬

受験の際に特別な配慮を必要とする者  
特別措置の申請

障害のある者で、受験の際に特別な配慮を必要とする者  
は平成28年(2016年)7月1日までに「所定の申請書」、  
診断書、障害者手帳の写し」を提出してください。



## 入学

### 1. 募集人員

専攻	募集人員	備考
数学	23名	社会人特別選抜1名の募集を含む
物理学	35名	連携4名、外国人留学生1名、物質・材料工学コース若干名、社会人特別選抜2名の募集を含む
化学	38名	連携3名、外国人留学生1名、物質・材料工学コース若干名、社会人特別選抜2名の募集を含む
電子・物理工学	42名	連携1名、外国人留学生1名、物質・材料工学コース4名、社会人特別選抜2名の募集を含む
物性・分子工学	49名	連携1名、外国人留学生1名、物質・材料工学コース4名、社会人特別選抜2名の募集を含む

- 連携に関しては、「12. 連携大学院方式」をご覧ください。
- 物質・材料工学コースは、国立研究開発法人物質・材料研究機構を基盤とする3年制博士課程「物質・材料工学専攻」に対応する博士前期課程の履修コースです。

(注)

1. 入学の時期は、4月入学又は10月入学となります（社会人特別選抜は4月入学のみ）。
2. 社会人特別選抜を希望する者は、社会人特別選抜の募集要項をご覧ください。
3. 社会人特別選抜には、連携、物質・材料工学コースも出願が可能です。

### 2. 出願資格

#### 出願資格

次のいずれかに該当する者

#### ○【入学の時期が平成29年(2017年)4月の場合】

- 大学（4年制）を卒業した者及び平成29年(2017年)3月に卒業見込みの者
- 学士の学位を取得した者及び平成29年(2017年)3月までに取得見込みの者
- 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年(2017年)3月までに修了見込みの者
- 文部科学大臣の指定した者
- 本学大学院において行う出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び平成29年(2017年)3月までに22歳に達する者
- その他  
(詳細はこちらから：上記以外の出願資格及び資格審査の有無はここで確認してください)

#### ○【入学の時期が平成29年(2017年)10月の場合】

- 大学（4年制）を平成29年(2017年)4月～9月に卒業見込みの者
- 平成29年(2017年)4月～9月に学士の学位を取得見込みの者
- 外国において学校教育における16年の課程を平成29年(2017年)4月～9月に修了見込みの者
- 文部科学大臣の指定した者

- 本学大学院において行う出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び平成29年(2017年)9月までに22歳に達する者
- その他  
(詳細はこちらから：上記以外の出願資格及び資格審査の有無はここで確認してください)

### 3. 出願書類等

下記摘要欄及び願書等記入例 を参照し記入のうえ、提出してください。 出願書類  
出願書類は、原本を提出してください(複写可と記載がある場合は除く)。

#### 【本学指定様式】

書類等		提出該当者	摘要
1	入学願書	全員	所要事項を記入し、提出してください。
2	履歴書	全員 (外国人出願者を除く。)	所要事項を記入し、提出してください。
3	外国人出願者用履歴書	外国人出願者全員	所要事項を記入し、提出してください。
4	職歴調書	職歴のある者全員	所要事項を記入し、提出してください。
5	受験票・写真票	全員	所要事項を記入し、写真(出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもので、大きさは縦4cm×横3cm、同一の写真を使用)をはって、切り取り線に沿って切り取って提出してください。上記要件に合わない場合には、受理しません。
6	机上受験票受付票	全員	所要事項を記入し、切り取り線に沿って切り取って提出してください。
7	研究歴証明書	外国人出願者の該当者	外国人出願者のうち、 <u>大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者</u> で、大学教育修了後、日本国内若しくは国外の大学又は大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする。)研究に従事しており、22歳に達した者及びその見込みの者は、当該機関の長等の証明を受け、提出してください。 ただし、本学の大学院研究生となっている外国人留学生は、本学所定の在籍証明書(奨学金申請用)をもって研究歴証明書に代えることができます。本学設置の証明書自動発行機で交付を受け提出してください。
8	宛名シート①	全員	所要事項を記入し、提出してください。 合格者に合格通知書等を送付する際に使用します。
9	出願書類等提出明細票	全員	所要事項を記入し、提出してください。
10	宛名シート②	全員	封筒(角形2号)を各自で用意し、宛名シート②に所要事項を記入のうえ、封筒にはり付け、出願書類を入れて郵送(書留速達)または、持参してください。

#### 【出願者が各自用意する証明書等】

書類等	提出該当者	摘要

1	卒業（見込）証明書 （注1）	全員	本学大学院への出願資格を満たす大学の卒業（見込）証明書を提出してください。（通常は学士の学位を取得した大学(学部・学群)）。 注)修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。
2	学位取得証明書 （注1）	①外国の大学を卒業した者  ②大学評価・学位授与機構で出願資格を得る者	① 外国の大学を卒業した者は学士相当の学位を取得したことを証明する書類（学位取得証明書等）を提出してください。 注) 修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。 ② 大学評価・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書（学位授与申請受理証明書）、成績証明書等学位取得に係る証明書すべてを提出してください。
3	成績証明書 （注1）	全員	① 本学大学院への出願資格を満たす大学の成績証明書を提出してください。（通常は学士の学位を取得した大学(学部・学群)）。 注) 修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。） なお、 <u>編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出してください。</u> ② 大学院修了者（修了見込みの者を含む。）は、大学院における成績証明書も提出してください。
4	TOEFLの場合は、受験者用スコア票(Examinee Score Record)、 TOEICの場合は、公式認定証(Official Score Certificate)またはOfficial Score Report （注2）	物理学専攻の該当者	外国語（英語）の選択を、「2. TOEFLの受験者用スコア票 (Examinee Score Record)を出願時に提出」または、「3. TOEICの公式認定証(Official Score Certificate)またはTOEICの Official Score Reportを出願時に提出」とした場合は、TOEFLの場合は「受験者用スコア票（Examinee Score Record）」、TOEICの場合は「公式認定証（Official Score Certificate）」または「Official Score Report」の原本を出願時に必ず提出してください。 上記の証明書は、平成 26年(2014年)7月以降に受験したものに限りです。TOEIC Institutional Program(IP) Score Report 及び TOEFL Institutional Test Score Record は受け付けません。 なお、コピーの提出は認めません。
		電子・物理工学専攻、物性・分子工学専攻全員（注2）	外国語（英語）の選択に基づき、TOEFLの場合は「受験者用スコア票（Examinee Score Record）」、TOEICの場合は「公式認定証（Official Score Certificate）または「Official Score Report」の原本を出願時に必ず提出してください。 上記の証明書は、平成 26年(2014年)7月以降に受験したものに限りです。TOEIC Institutional Program(IP) Score Report 及び TOEFL Institutional Test Score Record は受け付けません。 なお、コピーの提出は認めません。
5	受験承認書 （様式任意）	該当者	① 現に大学・大学院に在学している者（平成29年(2017年)3月卒業・修了見込みの者、及び入学の時期が平成29年(2017年)10月の場合は、平成29年(2017年)4月～9月に卒業・修了見込みの者を除く。）は、当該大学長（所属長）による受験承認書（様式任意A4判）を提出してください。 ② 現に官公庁・学校・会社等に在職している者（非常勤、アルバイトを除く。）は、当該所属長による受験承認書又は本人の申立書（様式任意A4判）を提出してください。〔退職して入学する予定の者は、本人がその旨明記した文書（押印必要）をもって、受験承認書に代えることができます。ただし、この場合は、入学手続き時に「退職証明書」を提出してください。〕
6	国費留学生証明書 （様式任意）	外国人出願者の該当者	他大学に在籍している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
7	返信用封筒 (362円切手貼付)	全員	長型3号封筒を用意し、この封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、362円切手をはって提出してください。〔受験票送付用〕

(注1) 婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本（写し可）を添付してください。

(注2) スコア票において、疑義が懸念されるような場合は、発行元に確認します。

※出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務に利用します。また、入学手続き完了者のうち、日本学生支援機構奨学金申請者に限っては選考の際の審査資料の一部に利用します。

## 4. 検定料

30,000円（国費外国人留学生を除く）

所定の金融機関等からの払込みとなります。

### ① 払込期間

平成28年(2016年)7月1日(金)から、出願期間に間に合うよう払い込みください。

### ② 払込場所

ア コンビニエンスストア（ローソン、ミニストップ、セブン-イレブン、ファミリーマート、サークルK、サンクスに限ります。）

イ 郵便局、銀行、信用金庫、農協（JA）などの金融機関受付窓口（ATM（現金自動預け払い機）から払い込みすることはできません。必ず金融機関の受付窓口から払い込みください。）

ウ 外国在住の者は、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS）により払い込むことができます。詳細は、本学ホームページをご覧ください。

<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/shiharai.html>

### ③ 払込方法

コンビニエンスストアを利用する場合は、PCまたは携帯電話で専用サイト上から申し込み、情報端末等（店舗により異なります。）を使用して払い込みます。

金融機関（郵便局、銀行、信用金庫、農協など）を利用する場合は、本学指定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を使用し、金融機関窓口から筑波大学の指定口座宛に払い込みます。別途「払込用紙」を※郵送又は来校して入手してください。

※長形3号封筒を用意し、この封筒に返信用郵便番号・住所・氏名を記入し、82円切手をはったものと、「払込用紙希望」の旨のメモを同封し、下記に郵送してください。

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1

筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試

#### 【コンビニエンスストアの場合】

ア PC又は携帯電話Web上の専用ホームページ、店内にある情報端末を利用して払い込みますので、払込用紙は使用しません。

イ 実際の操作の手順については、別紙の案内書「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を参照して払い込みください。

コンビニエンスストアでの検定料払込方法（PDF）

ウ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

#### 【郵便局の場合】

- ア 本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所・氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。
- イ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に入れてください。
- ウ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。
- エ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

#### 【郵便局以外の金融機関の場合】

- ア 郵便局以外の金融機関から筑波大学の指定金融機関（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）の口座宛に払い込む場合は、本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所、氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。
- イ 各票の「振込先」欄に、銀行名（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）欄に応じて支店名、口座番号をそれぞれ記入してください。
- ウ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に入れてください。
- エ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。
- オ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

④「**検定料**収納証明書（収納印**不要**）」（コンビニ払込）又は「受付局日附印」が押された「**郵便振替**払込受付証明書」（**金融機関**払込）を**入学願書**の所定欄にはり付けてください。

「検定料収納証明書」又は「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」が所定欄にはり付けられていない場合は、出願を受理しません。

## 5. 出願方法

- (1) 入学志願者は、出願書類を取りそろえ、出願書類等提出明細票で確認のうえ、下記(2)の出願期間中に下記(3)受付場所に持参するか、又は郵便局で書留・速達にして教育推進部教育推進課あて郵送（必着）してください。  
なお、提出（持参または郵送）にあたっては、本学所定の宛名シート②に所要事項を記入し、提出する封筒にはり付けてください。
- (2) 出願書類の受付期間  
平成28年(2016年)7月20日（水）～22日（金）9時～15時（昼休み12時～13時）  
（持参、郵送とも期間内に必着のこと。期間終了後到着分は受理しません。）
- (3) 受付場所  
筑波大学 本部棟高層棟8階会議室  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1  
受付場所周辺地図URL：[http://www.tsukuba.ac.jp/access/map\\_central.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html)
- (4) 出願書類を受理したときは、7月29日（金）に「受験票」を送付します。  
なお、8月5日（金）までに受験票が到着しないときは、教育推進部教育推進課に照会してください。
- (5) 出願にあたっての注意事項
  - ① 提出書類が不足していたり、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理しないことがありますので、提出前によく確認してください。
  - ② 出願後の志望研究科又は専攻の変更は認めません。
  - ③ 出願書類及び既納の検定料は、返還しません。

(注) 出願に当たり、カリキュラム、研究指導分野等について不明な点がある場合は、「8.過去の入試問題公開状況」の問い合わせ先まで連絡してください。

## 6. 選抜方法等

### ○選抜方法

提出書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、入学候補者を決定します。

### ○学力検査日程・試験科目等

次の日程のとおり実施します

月日		8月23日(火)		8月24日(水)
科目		外国語	専門科目	口述試験
専攻	時間	10:00~11:30	13:00~16:00	10:00~17:00
数 学		英 語 (100点) 辞書持ち込み可 (数学用語辞典・電子辞書の類は除く)	*3 数 学 (600点)	個別面接。専門等に関して 試問する。 (250点)
物 理 学		*1 英 語 (100点)	物理学 (600点) 従来関連科目として課していた 数学の問題を含む	個別面接。専門等に関して 試問する。 (250点)
化 学		英 語 (200点)	*4 化 学 (500点)	個別面接。専門等に関して 試問する。 (250点)
電子・物理工学		*2 英 語 (200点) TOEFLまたはTOEICの点数を 評価	*5 電子・物理工学 (500点)	個別面接。専門等に関して 試問する。 (250点)
物性・分子工学		*2 英 語 (200点) TOEFLまたはTOEICの点数を 評価	*6 物性・分子工学 (500点)	個別面接。専門等に関して 試問する。 (250点)

(注)

1. 受験生は、志望する分野の指導教員(研究分野一覧 参照)と事前に連絡をとってください。
2. 「物質・材料工学コース」を志望する場合に限り、物理学専攻、化学専攻、電子・物理工学専攻及び物性・分子工学専攻に属するそれぞれの物質・材料工学コースについて、一方を第一希望として出願し、他方を第二希望として出願することが可能です。

(例：出願先(第一希望)電子・物理工学専攻、(第二希望)物性・分子工学専攻)

3. 外国語(英語)の学力検査について

\*1 外国語(英語)については、「1. 本学の筆記試験を受験」、「2. TOEFLの受験者用スコア票(Examinee Score Record)を出願時に提出」、「3. TOEICの公式認定証(Official Score Certificate)またはTOEICのOfficial Score Reportを出願時に提出」の三つの選択肢から、いずれか一つを出願時に選択します。上記の証明書は、平成26年(2014年)7月以降に受験したものが有効です。コピーの提出は認めません。「1. 本学の筆記試験を受験」を選んだ者のみ当日に受験します。

\*2 外国語(英語)については、「2. TOEFLの受験者用スコア票(Examinee Score Record)を出願時に提出」、「3. TOEICの公式認定証(Official Score Certificate)またはTOEICのOfficial Score Reportを出願時に提出」の二つの選択

肢から、いずれか一つを出願時に選択します。上記の証明書は、平成26年(2014年)7月以降に受験したものが有効です。コピーの提出は認めません。筆記試験は実施しません。

\*1\*2 外国語（英語）の得点については、以下の基準点数を参考にしてください。以下の基準点数に達している場合には、当該専攻（受験コース）で実施する外国語（英語）の得点を満点に換算します。

TOEIC	ペーパー版TOEFL	インターネット版TOEFL	コンピューター版TOEFL
860	597	98	247

#### 4. 専門科目の学力検査について

- \*3. 専門基礎課題、専門課題の中から指定された題数に解答すること。
- \*4. 無機化学分野、物理化学分野、有機化学分野からそれぞれ1問以上、計4問を選択して解答すること。
- \*5. 数学は必ず解答し、力学、電磁気学、量子力学、固体物理学、光学、半導体工学から3問を選択して解答すること。ただし、力学または電磁気学のどちらかは必ず選択すること。
- \*6. 専門基礎課題から2問、専門課題から1問、計3問を選択して解答すること。

#### ○学力検査等の試験場

筑波大学（茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1）

〔詳細については、「10.受験についての注意事項等」の「受験者心得」をご覧ください。〕

## 7. 合格発表・入学手続

### 合格発表

平成28年(2016年)9月13日（火）10時

本学本部棟南駐車場（中央口案内センター隣接）に設置した掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には、合格通知書を同日「書留」にて発送します。

### 入学手続

(1) 合格者には、入学手続案内（入学に際して必要な提出書類が同封されています。）を平成29年(2017年)2月17日（金）に発送しますので、これに従って入学手続をとってください。

なお、その際有職者（非常勤、アルバイトを除く。）については、任命権者が発行する書類（研修命令書、休職証明書、就学承認書等のいずれか）を併せて提出してください。

(2) 入学時に必要な経費

- ① 入学料 282,000円（入学手続の際納付した入学料は、返還いたしません。）
- ② 授業料 第1期分(4月～9月分)267,900円  
第2期分(10月～3月分)267,900円（年額535,800円）

（注1） 入学時及び在学中に、学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

（注2） 入学料については、国費外国人留学生は不要です。

(3) 外国籍の方は、入学手続き時までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。

なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

## 8. 過去の入試問題公開状況

研究科（専攻）	閲覧	コピー	郵送	問い合わせ先	電話（直通）
数理物質科学				数理物質科学研究科事務室	029(853)7296

専攻	数学	○	○	○	理学系事務室（数学専攻）	029(853)4235
	物理学	×	×	×(注)3	理学系事務室（物理学専攻）	029(853)4277
	化学	○	○	○	理学系事務室（化学専攻）	029(853)6505
	電子・物理工学	○	○	○	工学系事務室（電子・物理工学専攻）	029(853)5443
	物性・分子工学	○	○	○	工学系事務室（物性・分子工学専攻）	029(853)5443

(注)

1. 過去の入試問題の郵送方法、費用については、各研究科（専攻）の問い合わせ先に直接連絡してください。
2. 過去の入試問題の閲覧又はコピーを希望する者は、事前に各研究科（専攻）の問い合わせ先に連絡してください。
3. 物理学専攻ホームページ（<http://www.px.tsukuba.ac.jp/~senkou/admission.php>）を参照してください。

## 9. 受験の際に特別な配慮を必要とする者

障害のある者で、受験の際に特別な配慮を必要とする者は、平成28年(2016年)7月1日（金）までに「所定の申請書、診断書、障害者手帳の写し」を教育推進部教育推進課へ提出してください。

### 特別な配慮の例

- 時間延長、別室受験、着席場所の指定など
- 点字による受験など
- 筆記のためのパソコン、視覚補助具、補聴器など特別な道具の持ち込み・使用など
- 手話通訳などの特別な要員の必要性など

これらを希望する場合には、その状態を証明できる診断書等の提出が必要になります。

## 10. 受験についての注意事項等

受験についての注意事項が記された「受験者心得」を一読し、その指示に従って受験してください。

受験者心得は、本学ホームページにて平成28年(2016年)8月1日（月）に掲載します。

## 11. 問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、次まで照会してください。

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1

筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試

電話 029(853)2230・2231

取扱日及び時間：月～金曜日の9時から12時15分、13時15分から17時

〔ただし、休日（国民の祝日、振替休日）を除く。〕

## 12. 連携大学院方式

近年の科学技術の急速な発展と高度化に伴い、研究分野の細分化、専門化が進む一方、従来の学問体系を越えて新しい境界領域が開拓され、学際的な研究が推進されるようになりました。

特に、基礎から応用分野に係る広い範囲の知識を必要とする学際研究では、専門分野を異にする研究者間の協力による総合的な研究が重要となっており、また、これに対応する、時代に即した新しい型の研究者育成が強く求められています。

本方式は、これらの学問的、社会的要請に応えるため、筑波研究学園都市等にある多数の国立・独立行政法人・民間企業等の研究機関と連携を図り、その研究者を本学の教授（連携大学院、連携大学院）又は准教授（連携大学院、連携大学院）に任

用し、最新の研究設備と機能を有する研究所において学生の研究指導を行い、教育・研究領域を多様化して大学院教育を活性化するとともに、これらの研究機関との交流を深めて新たな研究領域を確立することを目的としています。

### （連合型連携大学院方式について）

現在の連携大学院方式の教育を担当する教員は、1グループ（3人）の全てが同一研究機関（企業等を含む。）から、任用されていますが、本研究科物理学専攻先進学際物理学分野で導入する連合型連携大学院の1グループは、複数の研究機関にまたがる連携教員（3人）と、研究機関と本学の仲立ちとして研究指導協力及び修学指導・学生生活支援を行うアンカー教員（本学の専任教員教授1人以上）とから構成されています。

このうち連携教員の教授または准教授1名を（主）指導教員、他の2名とアンカー教員を新たに（副）指導教員として複数指導体制をとり、現行の連携大学院方式による研究指導体制の更なる充実を図るものです。

本学側のアンカー教員は、（副）指導教員になりますが、従来のそれとは異なり、研究機関への派遣時期の調整をはじめとする、教育システム全体の管理を担います。連合型連携大学院の学生は、連携教員とアンカー教員が協議の上で作成したプログラムに基づき研究指導を受けることとなります。